

「うまくいかない…」そんなときもあなたをサポート!



「ユース・アシスト」 ～立ち直り支援チーム～

支援コーディネーター・臨床心理士等で構成し、幅広い関係機関と連携して、少年一人ひとりに適した支援プログラムを作成、様々な体験活動等を通じて、非行等の問題を抱える少年の立ち直りを支援しています。

- ・基本プログラム
- ・就学支援プログラム
- ・就労支援プログラム
- ・体験活動プログラム
- ・家庭支援プログラム

ユース・アシスト (北部サテライト)
電話・FAX 0773-22-8729

「脱ひきこもり支援センター」

臨床心理士等の専門スタッフに相談をすることができます。ひきこもり状態にある方とその家族を支えることで、ひきこもりの“しんどさ”から回復され、社会参加・自立していけるよう支援しています。

- ・専門相談窓口 (電話相談・来所相談・アウトリーチ (訪問相談))
- ・早期支援特別班 (学齢期対策) ・家族教室 等

脱ひきこもり支援センター (北部サテライト)
電話・FAX 0773-22-8728



<所在地 (2か所とも)> 福知山市篠尾新町一丁目91 京都府中丹広域振興局 (福知山総合庁舎) 内

中丹はぐくみサポート会の活動から

社会人基礎力について

(サポート会委員からの提起)

社会に出て活躍するために、身に付けるべき力とは…? チェックシートを使って協議しました。

- ・物事に進んで取り組む力
- ・失敗を恐れず粘り強く取り組む力
- ・相手とつながる力 等

「会社が求める人材」の例

(サポート会委員からの提起)

地元企業が求める人材とは…? その一例について協議しました。

- ・自分で判断する力を持っている
- ・協調性やコミュニケーション力がある
- ・相手を思いやる力を持っている

令和時代を生きる子どもたちに必要な3つの力 ～やる気と能力を引き出す関わり～

(「みんなでコラボ in 中丹」講演より)
講師: (株)対話教育研究所 小山英樹 様

・「子どもたちに必要な3つの力」
協働する力・自立する力・活用する力

・子どものやる気と能力を引き出す関わり方のポイントは

傾聴・質問・承認・提示・反映

がんばりすぎない子育て講座

(「みんなでコラボ in 中丹」はぐくみ教室より)

家庭教育はすべての教育の出発点です。子育て期に必要な「たいりよく」とは?

「耐力」

「清濁併せ呑む」…受け入れる力
自分の心の状態を知る。

「体力」

自分・子どもの体を知る・感じる

「帯力」
(連帯力)

たくさんの人とつながる力
受援力…「助けて」と言える力

ゆるやかであたたかな人のつながり つながりサポーター

子どもたちを豊かにはぐくむためには、学校・家庭・地域の皆さんがつながりを深め、今、自分にできることを一つでも実行していくことが大切です。この趣旨に賛同して、自ら考え行動していただく方、それがつながりサポーターです。
あたたかなつながりで子どもたちを包み込みましょう!



チラシはこちらから

中丹はぐくみサポート会とは・・・

中丹地域で活動している様々な団体や組織が連携した教育協働ネットワークです。子育て支援の在り方の協議や保護者の学習機会の提供など、社会総がかりの子育て支援を推進するために協議を重ねています。

サポート会の目的

